

# ないえ会 会報 No.14

2010年8月10日

- 国道12号線 奈井江町の道の駅「木菟」：高橋靖代
- こんな美しい畑がありました：事務局
- 職員紹介：大前和也・湯浅奏音・岩崎亜沙美



「木菟」のアイスクリーム：チョコ・イチゴ・ごま

## 国道12号線 奈井江町の道の駅「木菟（みみずく）」

「木菟」担当 高橋靖代

「喫茶木菟」は奈井江町の道の駅「ハウスヤルビ奈井江」の開業と同時にオープンし15年目を迎えます。

福祉施設が利益を必要としなかった時代とは違い、福祉施設も利益を必要とされる時代となりました。木菟は開店当初、一般就労に向けての訓練の場とされておりましたが、現在は地域移行支援センターキラリの作業部門の1つとなり、重要な収益を期待される立場となっています。開店当初の、『美味しいコーヒーを提供し、健常者と障がい者が気兼ねなく交流できる店』から、『営利を追求し、利用者にいかに還元していくかが求められる店』へと転換が求められています。

しかし、根本的問題である道の駅への進入経路の問題、道の駅の増加、さらには高速道路無料化などが影響し、奈井江町の道の駅の全体のお客様が激減しているのが現状です。木菟の打開策として、これまで観光客がメインだったお客様を地域住民にも拡大し、就労継続B型事業所すまっしゅのミネラル栽培椎茸を利用した特色あるオリジナルメニューの開発や、木菟スタンプカードの導入、リサイクル展・ハワイ展などのイベントの開催、町政便りや地域新聞での広報など、地域からの集客を試行錯誤しているところです。しかし、今のところ集客数の増加に結びついていないのが現実です。木菟だけで利用者増を模索するにも限界があります。今年はテナントが協力してイベントを行うなど道の駅全体の集客増対策も考えていかなければならないと感じております。

また、木菟がどこまで営利を追求し営業できるかとい

う課題もあります。現在木菟に在籍している利用者は5人です。レジやオーダーといった接客業務を中心に、軽食メニューの仕込みなども行っておりますが、取扱い商品の増加や、ランチメニューである椎茸パスタや椎茸カレーの提供など作業内容が複雑化し、営利を追求すると同時に利用者への負担も大きくなってしまおうという問題も生じています。

どんな時代でも接客の基本は笑顔と考えます。道行くお客様や常連のお客様に居心地の良い時間を提供し、『開店当初の理念』を失わず、利用者がいつも笑顔で働ける場であるよう支援したいと考えております。

(次号に続く)



「木菟」の椎茸スパゲティセット：「すまっしゅ」で作った肉厚の椎茸が沢山。イタリアンパセリが洒落ています。このほかカレーライスセット、コーヒー、ジュース、岩瀬牧場のアイスクリーム等々がメニューに載っています

## こんな美しい畑がありました！

ないえ会事務局

7月26日雨上がりの午後、生活介護班の畑を拝見しました。降雨後の土は湿って黒々としていましたが、実に手入れの行き届いた畑がありました。作物は写真の枝豆、スイートコーンの他、イチゴ、小豆、花豆、ミニトマト、バジルなどで、担当職員の話では、この畑は作業収益の確保が目的ではなく、自分で栽培し、収穫し、そして、味あうために栽培しているとのことでしたが、それには十分すぎる収穫が期待できます。

給食部門の委託が多くの事業所で行われていますが、「障がい者支援施設ないえ」では直営で行われています。このような自分たちの作った農産物を利用できる直営の良さを存分に発揮して欲しいと感じました。



生活介護班の枝豆とスイートコーン

## 職員紹介

### クラスでの自分流の取り組み 大前和也

私が奈井江学園で働くようになってから半年がたちました。まだまだ未熟者ですが、クラスでの自分流の取り組みという事で、まずは利用者との信頼関係を築く為に、積極的にコミュニケーションをとるようにしています。ようやくそれぞれの利用者の性格などが把握できてきて、利用者に応じた話し方や、興味のある話題を少しずつ提供できるようになってきました。また、利用者のさまざまな訴えをしっかりと聞いて、できるだけ早く利用者の望む形で解決できるよう、普段から表情などもよく観察していきたいです。

私は今まで介護ではない一般企業で、営業や接客の仕

事をしてきましたので、それまでの経験も介護のほうで生かす事ができたらいいなと思います。



### 「学生実習と就職との違い」 湯浅 奏音

私は大学3年生の春休みに初めて奈井江学園でボランティアをさせていただきました。その頃、何もかもが初めてで、まず名前を覚えることに精一杯でしたが、利用者さんとの関わりがとても楽しかったことを覚えています。

現場実習では、前回のボランティアとは違う班で実習をさせていただき、違いはたくさんありましたがやはり「楽しさ」が一番自分自身に残っていました。

現場で働き、初めは実習とのギャップが大きく、正直悩んだこともあります。決して楽しさがないわけではありませんが、楽しさを感じる前に人と接することの難しさに混乱してしまいました。今までどうやって友達と接

していたかな…などと考え、どうしたら心を開いてもらえるだろうかと悩んでいた時、時間が解決してくれるよとアドバイスをいただき、気持ちに焦りがなくなっていき、ゆっくり関係を築いていこうと考えられるようになりました。



### 学生実習と就職との違い 岩崎 亜紗美

学生実習では限られた時間の中で利用者さんと仲良くなり、少しでも多く特徴をとらえることが目標でした。実習中は職員の方々の仕事を見て自分の出来る事をし、アドバイスを聞きながら実践出来るよう考えながら行動しました。

就職をして利用者さんと毎日接することで時間が増え、楽しいことや疑問に思うことがありました。なので、まずは利用者さん一人一人を理解して支援していくことが大切だと思いました。また、これからは自分で考えて行動し、その行動に責任を持てるように心掛けたいと思

います。そして利用者さんとコミュニケーションを取り、一日一日を大切に、たくさんのことを学んでいきたいと思っています。



## 編集後記

「風が吹いて桶屋が儲かる」と言いますが、高速道路無料化で各地の道の駅でお客様が激減しています。奈井江町の道の駅も利用者が激減していると話す担当者。考えられていたより無料化の影響は大きいようです。

奈井江学園父母の会が「ないえ会」に変わり、この会報も広報部として初めて担当しました。編集会議で利用者の親という立場で知りたいことをこの会報に載せていきたいと考えました。「木菟」のこと知らないこといっぱいでした。